

出発式

本日、7年生は宿泊研修のため、奥越高原青少年自然の家へ出発しました。

出発式では、奥村副校長から「仲間と協力し、一回り大きくなって帰ってきてほしい。」という話がありました。生徒たちもこれからの2日間を頑張りたいとの思いが、表情にも表れていました。実行委員長のあいさつからは、「みんなで最高の宿泊研修にしたい！」という思いが伝わり、これから始まる活動への期待が高まっている様子でした。



バス移動

バスの中では、友達と楽しそうに会話をしたり、景色を眺めたりしながら過ごしていました。事前に準備していたゲームを行う学級もあり、車内は大いに盛り上がりました。早速仲間との時間を楽しむ姿が見られ、宿泊研修への意識が少しずつ高まっていきました。



入所の集い

奥越高原青少年自然の家に到着後、入所の集いを行いました。自然の家の方からは、「自分で考えて行動する力、仲間と挑戦する力、諦めずに取り組む力を大切にしてほしい」などのお話をいただきました。生徒たちは話をしっかり聞き、これから始まる集団生活への気持ちを引き締めている様子でした。また、副実行委員長からは「先生達に頼るのではなく、自分たちで頑張ろう」という決意が語られました。



学年目標を決めるための話し合い

活動の最初は、学年目標を決めるための話し合いを行いました。「まずは自分たちの現状を捉えよう」ということで、各学級に分かれてクラスの様子について話し合いました。それぞれが日常を振り返りながら、自分の考えを出し合う姿が見られました。話し合いが進むと、実行委員からは「行動だけでなく、その行動の背景にある思いについても考えて欲しい」と、さらに話し合いの方向性が

示されました。自分の意見を伝えるだけでなく、仲間の考えに耳を傾けようと熱く訴える場面も多く、これからの学年づくりにつながる時間となりました。



昼食



レクリエーション

実行委員のコントによって幕を開けたレクリエーション。ひと笑いをとって、楽しい時間が始まりました。今回の宿泊学習「壁を打ち破る」の目的に沿って、グループ分けは学級を混ぜてつくられています。最初に行われたのは「誰が・どこで・何をしたゲーム」です。それぞれのグループが文章を持ち寄ると、奇想天外な文章が出来上がり、その意外性がとても面白かったです。続けて行われたのは「じゃんけん列車」じゃんけんが行われるたびに、そこかしこで勝利の雄叫びが聞こえてきました。最後には100人以上の大きな輪になり、大盛り上がりでした。

レクリエーションが始まる前は、まだまだあまり打ち解けていない様子、緊張している様子も見られましたが、レクリエーションが終わる頃には、みんな笑顔で活動を終わることができました。

